あおば

No.92
Spring 2020

特集

- 令和2年度 新入職員紹介 P.2
- JA東京グループ 農業男子×総選挙 P.4

みんなのよい食プロジェクト
食は日本の未来。JAグループ

JA東京あおば
https://www.ja-tokyoaoba.or.jp/

多肉植物の魔術師

深彫和系 農業男子

JA東京あおば代表

高橋さん
（練馬区南大泉）

多肉植物の手入れは美しく綺麗に。

JA東京グループ

農業男子×総選挙

2020 東京

「JA東京グループ 農業男子×総選挙 2020 東京」（JA東京中央会主催）は、東京都内の14JAから選ばれた農家の方14名を特設サイトで紹介し、東京都民の皆さまに投票いただき、東京農業をPRする「広報大使」を選んでいただく企画です。

当JA管内からは髙橋さん（練馬区南大泉）が代表に選ばれました。1000枚以上撮影した写真の中から、普段見せない表情やポーズの写真を厳選してご紹介。農作業している「ON」のシーンはもちろん、私服やスーツ姿などの貴重な「OFF」ショットも大公開します。

投票は1メールアドレスにつき1日1回で、期間中最大41票の投票ができます。東京都内の方に限らず、全国から投票ができます。投票いただいた方の中から、抽選で東京都産野菜の詰め合わせセットなど素敵な景品が当たります。お友達にもご紹介いただき、JA東京あおば代表の髙橋 徹さんの応援をどうぞよろしくお願いします。

投票について

夏頃開催予定です。投票方法など決まり次第、当JAホームページでお知らせいたします。
QRコードまたは「JA東京あおば」で検索!

https://www.ja-tokyoaoba.or.jp/

手すりに寄り掛かる画も余韻がある。

ON

成長具合を確認するのは欠かさない。

様々な多肉植物のアレンジ。汗をかく姿が魅力的だ。

OFF

人通りの少ない小道は落ち着けて好き。

ウッドウォールがステキなカフェ。OFFでも美的センスを磨き続ける。

PROFILE
プロフィール

昭和60年11月生まれ（34歳）
99年続く農家の4代目で就農2年目。
園芸農家で花と多肉植物を出荷。
年間50種類を育てる。

SNSなどはやっていますか?： GreenSnap をやっています。

就農のきっかけ： 農業後継者で農業が好きだったから。

販売先： こぐれ村・とれたて村石神井・にりん草・板橋地区アグリセンターなど

好きな野菜： キャベツ（野菜炒めは最高!）　**趣味：** 映画・ドラマ鑑賞　**座右の銘：** 誠心誠意

けっこう人に自慢できること： 大学の卒業論文で、学科で1人の「最優秀賞」をいただきました。

好きな農機： ネポン株式会社の暖房機（先代からずっと使い続けており、信頼性があるから。）

農業で自信のあること： 小さいサイズの多肉植物アレンジが得意です。

都市農業のすごいところ： 限られた土地の中で、皆がプライドを持って生産しているところ。

応援してくれている方へ： 東京では住宅地が増え、農地は減っています。私は最後まで東京で農業を続けていきます。みなさん応援してください!

撮影協力：オザキフラワーパーク・GROWERS CAFE

01 NEWS
JA京都市青壮年部とJA東京あおば青壮年組織協議会がパートナーシップ協定締結

2月21日(金)、JA京都市青壮年部とJA東京あおば青壮年組織協議会がパートナーシップ協定を結びました。

昨年開催された当組合の農業祭や、練馬区で開催された「世界都市農業サミット」に両組織部員が参加し、交流が始まりました。

1月22日(水)、JA東京あおば青壮年組織協議会のメンバーがJA京都市を訪問。協定の内容について確認し、協定を締結する運びとなりました。

お互いの地域には、消費者が身近に存在しています。このような都市農業を発展・形成していくには、地域住民の農業への理解や地産地消の意識を高める必要があると考えており、「これらの活動を連携し実践できないか」という目的のもと協議を開始。「都市農業の実践事例を共に国内および世界に向けて発信していきたい」という思いが、今回の協定を締結するきっかけとなりました。

JAの組織同士がパートナーシップ協定を結ぶのはJA東京あおばで初。

「京都産野菜を東京へ、都内産農産物を京都へ」といった販路拡大に向けた取り組みや、京野菜・江戸東京野菜を使用したコラボ商品の開発、農業祭、地域農業振興イベントの協力体制の構築などの相互協力により、今後のさらなる都市農業の活性化が注目されます。

02 NEWS
初の認定農業者が誕生 板橋区

1月23日(木)、板橋区は認定農業者に対する認定証交付式を行いました。

板橋区が認定農業者を認定するのは今回が初めて。

2019年度に制度に係る要綱を制定し、制度説明会、認定審査会を経て、この度4農業経営体を認定農業者に認定しました。坂本健板橋区長が認定証を交付し、農業関係者と懇談を行いました。

勤めを辞め、就農した若い認定農業者は、「農業は楽しく可能性がある。地元の飲食店は地場産野菜を使いたいという声が多い。板橋区にも農業があることを伝えて行きたい」と話しました。

同区は2016年度から10年間にわたる「産業振興構想2025」を策定。その中の産業振興施策の1つとして「農業」が位置付けられています。

農業を魅力あるものにしていけるよう、農業者・板橋区・JA東京あおばの3者が協力してまいります。

03 NEWS
令和元年度 JA東京あおば教育文化活動セミナー開催

2月12日(水)、JA東京あおばは教育文化活動セミナーを開催しました。

本セミナーは毎年開催しており、今年で6回目。組合員の日々の活動を役職員が知り、JA東京あおばの役職員として何をすべきかを考え、理解を深めることを目的としています。役職員、青壮年部員、女性部員らが参加しました。

第1部では、板橋地区女性部の田中さんが、総合家庭雑誌『家の光』の記事を活用した体験「ゴーヤが守る緑の地球と子供の命」を発表。石神井地区青壮年部の本橋さんは、「結束」というテーマで農業者の組織である青壮年部の活動を発表しました。さらに昨年練馬区で行われた「世界都市農業サミット」のシンポジウムに登壇された白石さんは、「都市農業の未来を語る」というテーマで発表。合計3人の組合員が活動を発表しました。

第2部では「都市で農業を続けるために知っておきたいこと」をテーマに、練馬区都市農業担当部都市農業課練馬区農業委員会事務局の澁谷悠万さんが都市農地制度について講演しました。

これからもJA東京あおば役職員は、組合員を理解し、協同の成果を実現することを目指してまいります。

04 NEWS
社会科見学で練馬区内の小学校から合計940人を受け入れ！

JA東京あおばは1月から2月にかけて、地域振興部および農産物直売所「とれたて村石神井」で、練馬区内の小学校11校の3年生と先生を含む合計940人を社会科見学で受け入れました。前年度の10校777人を上回る人数です。

次世代に都市農業の大切さを伝え、JA東京あおばのブランドを認知してもらい、ファンを増やすのが目的です。

会場ではJAのプレゼンテーションを行い、農産物直売所では新鮮な地場産野菜・プライベートブランド商品を紹介。また農機具のコンバインを実際に動かすなど、農業に触れるきっかけを作りました。

05 NEWS
全国家の光大会へ出場 板橋地区田中さん

2月17日(月)、18日(火)に福岡県で開催された、第62回全国家の光大会の都道府県代表体験発表大会で、板橋地区女性部の田中さんが「記事活用の部」で東京都代表として「ゴーヤが守る緑の地球と子供の命」を発表しました。田中さんは『家の光』の「失敗しない！緑のカーテン」の記事を参考に、ゴーヤの苗を栽培。出来上がったゴーヤの苗を地域住民の方へペットボトルのキャップと引き換えに配布しました。集まったペットボトルのキャップはポリオのワクチン代として寄付するなどの活動を通して、持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みを行うなど、日頃の女性部活動を堂々と発表しました。

06 NEWS
青壮年部員が小学校で出前授業

2月8日(土)、JA東京あおば青壮年組織協議会は、新宿区立落合第一小学校で2年生3クラス85人に出前授業を行いました。JA東京青壮年組織協議会より、食農教育と都市農業を振興する取り組みの一環として行っているこの活動。今回は、当JA大泉地区青壮年部員3人が講師となり、クイズ形式で東京農業の役割を紹介。また、ネギやニンジンなどの東京野菜を前日の給食食材として使用。食農体験を実施しました。

生徒からは「東京に農家は何人いるのか」や「作業で一番大変な事は何か」といった質問があり、講師が回答。参観した保護者も熱心に傾聴していました。

講師の1人である酒井雅博JA東京青壮年組織協議会副委員長は、「東京でも農業があることを理解してもらうきっかけになりました。今後も都市農業に対する理解醸成のために、活動を続けていきます」と話しました。

JA東京あおば管内の入賞者一覧(敬称略)

賞	特別賞	部門	種類名	品種名	氏名	地区
銀	サンシャインシティ代表取締役社長賞	花　苗	プリムラ・ジュリアン	ココロン	杉森さん	大泉
銀		一般鉢物	マーガレット		小澤さん	練馬
銅		花　苗	プリムラ・ポリアンサ	肥後	杉森さん	大泉
銅		花　苗	プリムラ・マラコイデス	古都ざくら	松澤さん	板橋
銅		一般鉢物	プリムラ・マラコイデス		水橋さん	練馬
銅		一般鉢物	プリムラ・マラコイデス		水橋さん	練馬
銅		一般鉢物	プリムラ・マラコイデス	自家採種	田中さん	大泉
銅		一般鉢物	プリムラ・マラコイデス	うぐいす	髙橋さん	大泉

07 NEWS
第69回関東東海花の展覧会

1月31日(金)～2月2日(日)まで、池袋サンシャインシティ文化会館で「第69回関東東海花の展覧会」が開催されました。「花でつなぐ、ひと・街・ミライ」をテーマに、今年度展覧会の事務局を務める千葉県が特別展示を実施。さまざまなイベントが開催される幕張新都心地区や、三方を海に囲まれた自然の魅力を花や緑で表現し、会場を盛り上げました。品評会には全体で1651点、管内からは28点の出品があり、6人が入賞しました。この展覧会は関東から東海地方まで1都11県および花き関係6団体が主催する国内最大級の花のイベントです。各団体のPRコーナーや即売会など、来場者を楽しませました。

農の現場
都市農業の未来を探る
93

都市農業の可能性は無限大
板橋区内初の認定農業者

板橋区蓮根／冨永（とみなが）さん

広さ28アールの畑で年間30種類以上の有機野菜をつくる板橋区蓮根の冨永さん（36）は、区内で初めての認定農業者だ。土づくりや管理の手間を惜しまないこだわり野菜は軒先販売や地元飲食店へ直売し、幼稚園などの収穫体験の受け入れも行っている。認定農業者になったことで新たな畑も借りやすくなった。経営を拡大しながら、豊かな発想で都市農業の可能性も広げている。

住宅街の真ん中にある農園「ハスネファーム」の入り口には毎週、木板を組み立てて作った即席の直売所が登場する。夜勤明けの青年や常連の主婦など冨永さんの野菜ファンは幅広い。

ダイコン、ジャガイモ、のらぼう菜、ツルムラサキなど、少量多品目をそろえるのが強み。人気の野菜は意外にも、定番より珍しい野菜だ。ビールの原料になるホップやエスニック料理に使うパクチーなども育てる。毎年、JAからの依頼を受け、江戸東京野菜の「志村みの早生大根」も育てている。

冨永さんは、妻の実家の畑を引き継ぎ就農した。以前は大手電子機器メーカーに勤務し、休日だけ農作業を手伝ってきた。2019年6月に会社を辞め、農業に専念した。前職でマーケティングや新規事業を担当していた冨永さんの目に映る都市農業は何より可能性に満ちていた。住宅街にある農地を活用した農業体験の場の創造やインターネットツールを活用した地域飲食店との連携など、「チャンスを逃す訳にはいかない」と就農に踏み出した。

会社員の頃は毎日が会議の連続であったのに対し、今は日中のほとんどを畑で過ごす。「野菜を買いに来る近所の人たちと話す時間がとても楽しく、貴重に感じる」と語る。

農業の技術や経営についての知識を深めるため、勤めを続けながら社会人向け農業スクールへ通っていた冨永さん。付加価値を生み出そうとこだわる栽培管理では、畝間に緑肥作物を植えて、そのまますき込み地力を高める。管理が大変な有機栽培はJA管内でも挑戦者が少ないため、技術向上を目的に週1回は神奈川の篤農家へ学びにいく。

認定後、新たに10アールの農地も譲り受けた。「役所とのやりとりがスムーズだった」（冨永さん）とメリットを実感している。また、育てた野菜を通して農業に対する地域住民の理解を深めようと、安売りはせず価値に見合った価格設定にすることにした。

冨永さんは「農福連携や幼稚園、飲食店を拠点とした野菜の注文販売など農業ビジネスの可能性は無限大。野菜というコミュニケーションツールを通して多くの人に畑の魅力を伝えたい」と目を輝かせている。

地元の方へ新鮮な野菜を販売

軒先販売で人気なのらぼう菜

区から交付された認定証を持つ冨永さん

冨永さんの営む畑「ハスネファーム」

春のおすすめレシピ

エビと春野菜のフリッター

材料（2人分）

- エビ……2尾
- フキのとう……1本
- タラの芽……2本
- オニオンスライス……適宜
- ミニトマト……2個
- サラダ油……適宜

ソース

- マヨネーズ……大さじ2
- レモン汁……小さじ1
- 粉さんしょう…小さじ1/2

フリッター粉

- 小麦粉……3/4カップ
- 炭酸水……3/4カップ

作り方

①フリッター粉とソースの材料をそれぞれよく混ぜ合わせておく。

②エビ、半分に切ったフキのとう、タラの芽をフリッター粉にくぐらせ、180度に熱したサラダ油で2～3分揚げる。

③皿に土台としてオニオンスライスを置き、②を盛り付け、ミニトマトをあしらい、容器に入れたソースを添えて出来上がり。

アドバイス
炭酸水の代わりにビールを使ってもOK。冷めてもカリカリとなる。

サワラとハクサイのサッと煮

材料（2人分）

- サワラ……2切れ（30g）
- ハクサイ（芯の部分）……1/8個
- スルメイカ……適宜
- ヒラタケ……1/4パック
- スナップエンドウ……2個
- ショウガ薄切り……2枚

合わせだし

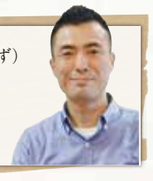
- かつおだし……3カップ
- みりん……大さじ2
- 酒……大さじ2
- 薄口しょうゆ……大さじ1
- 塩……小さじ1/2

作り方

①鍋に合わせだしを入れて沸かし、ハクサイ、切ったスルメイカ、ショウガを入れ、中火で5分ほど煮る。

②塩をして1時間ほど置いたサワラ、ヒラタケ、スナップエンドウを鍋に加え、5分ほど煮る。

③鍋の火を消し30分程度味を含ませ、ハクサイは半分程度に切り、他の食材と器に盛る。再び鍋を火にかけ、残っているだしを熱くする。だしを掛けて出来上がり。



永井 智一（ながい・ともかず）
茨城県笠間市にある
「天晴（旧キッチン晴人）」
オーナーシェフ

きじまりゅうた先生の「あおばの台所」は今号はお休みです。次号より掲載予定です。お楽しみに!

JA東京あおばセレモニーセンターからのお知らせ

家族葬 | 一般葬 | 一日葬

ご葬儀はJAへ
大切な方とのお別れを心をこめてお手伝いいたします。

法要・返礼品・仏壇・仏具・墓地墓石等

電話相談 無料 対面相談

練馬区石神井町 5-11-7（セレモニーセンター）
TEL.03-3996-9439（365日 24時間受付）

ライフステージに合わせた
生前整理から
遺品整理まで
お部屋の片付けを
お手伝いいたします。

お部屋の片付け
お見積もり無料

いつも一緒にいた
場所で
送ってあげたい。

ペットの供養
火葬・葬儀・納骨
どこへでもお伺いします。お気軽にお電話ください。

TEL.03-3996-9439（365日 24時間受付）

新型コロナウイルスの影響による JA東京あおばからのお知らせ

農産物直売所・地区アグリセンターの営業時間短縮について

JA東京あおばは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面農産物直売所ならびに地区アグリセンターにおいて平日・土日祝日の営業時間を短縮させて頂きます。

対象期間 2020年4月1日（水）～30日（木）

営業時間 各店舗営業開店時間～午後3時まで

対象店舗 にりん草・ふれあいの里・とれたて村石神井・こぐれ村
板橋、練馬、石神井、大泉地区アグリセンター
全8店舗

年金感謝デーおよび貯金感謝デー中止について

JA東京あおばでは、年金感謝デーおよび毎月の貯金感謝デーを開催しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、お客様の健康と安全を考慮し、年金感謝デーおよび貯金感謝デーの開催を2020年4～6月まで中止させて頂きます。お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

＊尚、行政等の社会動向により更なる内容変更が生じる場合がございますので、重ねてご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

手軽に健康 手指体操

手のつぼ刺激で、肩の力を抜きましょう

健康生活研究所所長 ● 堤 喜久雄

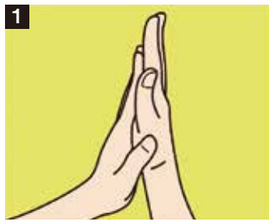
春は仕事や環境に変化の訪れやすい季節。気付かないうちにストレスがたまりやすい時期でもあります。上手に乗り切るためにも、毎日続けられる手指体操がお勧めです。

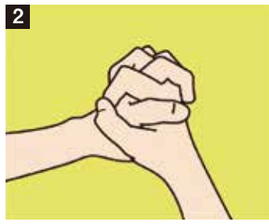
今回ご紹介する指先体操は手の甲のつぼを刺激します。手には全身の臓器につながるつぼがあり、それらを刺激することで緊張を緩めたり、全身の血行を良くしたりと心身のバランスを整える効果が期待できます。

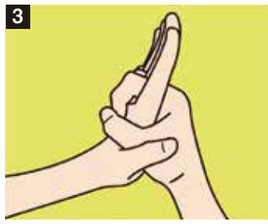
手の甲は体の背面、特に肩や背中の凝りに効果的といわれています。体操では、息を吐きながら刺激を入れて、息を吸いながら緩めるとさらに効果が高まります。

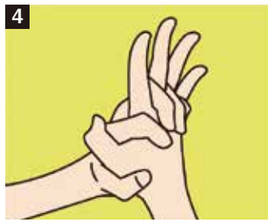
毎日少しずつでよいので1カ月続けてみましょう。長く続ければ続けるほど、ストレスを上手にコントロールでき、春を快適に乗り切っていけるはずです。

左右交互に手の甲を刺激する

1

手のひらを合わせて、上下にこすります。手のひらや指の内側が温まってくるのを感じましょう。

2

次に両手の指を組みます。

3

右手の指先にグッと力を込めて左の手の甲の骨と骨の間を刺激します。このとき、左手の指は真っすぐ伸ばします。

4

同様に、左手の指先に力を込めて右手の甲を刺激します。2秒に1回押すペースで、左右交互に30秒続けてください。

税務・法律相談のご案内

お気軽にご相談ください

無料・予約制 ご予約は各相談日の前営業日の午後3時までとさせていただきます。

※相談日が祝・祭日の場合は各店舗にお問い合わせください。

赤塚支店

税務相談
ランドマーク税理士法人
毎月第1・第3火曜日/10時～16時

法律相談
深沢綜合法律事務所
毎月第2木曜日/13時～16時

所在地 板橋区四葉2-8-3
☎03-3930-0115

練馬春日町支店

税務相談
ランドマーク税理士法人
毎週木曜日/9時～12時

法律相談
深沢綜合法律事務所
毎月第2金曜日/9時～12時

所在地 練馬区春日町1-17-34
☎03-3999-1451

石神井支店

税務相談
公認会計士・税理士　鈴木一郎事務所
毎月第2火曜日/13時～16時
ランドマーク税理士法人
毎月第3水曜日/13時30分～15時30分

法律相談
深沢綜合法律事務所
毎月第2月曜日/13時～16時

所在地 練馬区石神井町5-11-7
☎03-3995-4121

東京協同サービス（株）平和台支店

税務相談
公認会計士・税理士　鈴木一郎事務所
毎月第1・第4土曜日/9時～16時

所在地 練馬区早宮2-17-50 平和台STビルII
☎03-3931-6051

大泉支店

税務相談
公認会計士・税理士　鈴木一郎事務所
毎月第2火曜日/9時～12時
ランドマーク税理士法人
毎週木曜日/13時30分～15時30分

法律相談
深沢綜合法律事務所
毎月第3火曜日/9時～16時

所在地 練馬区大泉学園町2-12-17
☎03-3925-3111

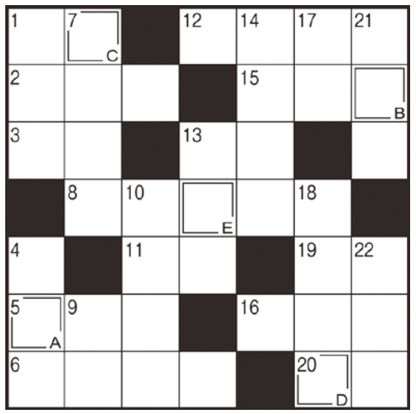
クロスワードパズルに答えて プレゼントを当てよう！

出題：ニコリ

PRESENT 応募締め切り 5月29日（金）必着

Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

☆答えは次号でお知らせします



タテのカギ

1 ビニール＿＿の中で作物を育てた
4 ピッ、ピッ、ピッ、ポーン
7 口紅を片仮名言葉でいうと
9 メロンやズッキーニもこの仲間
10 ハワイの代表的なビーチリゾート。ダイヤモンドヘッドが見えます
13 視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のこと
14 臭いため嫌われやすい昆虫
17 国語、数学、＿＿、社会
18 ウナギの内臓を使って作る汁物
21 菜の花の咲く頃に降る＿＿梅雨
22 土俵の上で戦います

ヨコのカギ

1 冬が終わるとやって来ます
2 羊やアルパカの毛のこと
3 スナップエンドウの下処理の際に取る物
5 掃き掃除をするときに使います
6 欲しかった商品が＿＿になっちゃった……残念
8 瞬間＿＿の蛇口から熱湯をくんだ
11 契約書や伝票に押します
12 ハトの形をした笛
13 輪＿＿、消し＿＿、＿＿手袋
15 物の重さのこと
16 選挙の立候補者が肩から掛けます
19 木がたくさん生い茂っている所
20 患者を診察する人

- 専用応募ハガキにクイズの答えを記入 ※郵便ハガキでもOK
- 各支店の窓口ポストに投函（無料）
- 63円切手を貼って郵送

ハガキ附属のQRコードより応募するとプレゼント当選確率UP!

- プレゼント 信州手振りそば・国産小麦粉づくり手振りうどん 2種類 15名様

応募あて先 〒179-0075 東京都練馬区高松5-23-27 JA東京あおば　広報誌「あおば」係行

Information

民法改正による定型約款のホームページ掲載について

民法改正による定型約款をホームページに掲載いたしました。ご確認ください。

表紙の写真 小美濃さんの なばな

春を告げる野菜の一つとして親しまれております。βカロテンが豊富で炒め物、お浸し、和え物やパスタなど幅広く使えます。

前号の答え

A エ B キ C デ D ン

当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。

たくさんのご応募ありがとうございました！

読者のひろば

「子育て積金」が満期を迎え、預け方を考えていますが、親身に窓口の方が相談にのってくださってとても参考になりました。丁寧な対応を今後もお願いします。 S.Eさん 中村橋支店

皇位継承に伴う伝統行事に触れてきました。皇居東御苑では大嘗宮を、東京国立博物館では即位正殿の儀で用いられた高御座（たかみくら）と御帳台（みちょうだい）を見学。広報誌「あおば」で井之口さんのキャベツが大嘗祭に供納されたのを知り、嬉しく思いました。 S.Kさん 高松支店

先日、赤坂の路地を歩いていてイタリアンのお店の看板に「練馬産野菜を使っています。」という表示を発見!練馬に住んで16年、良かったなぁと思いました!! S.Rさん 富士見台支店

初めてじっくり広報誌「あおば」を読んで、いろんなことを知りました。とても良かったです。 N.Yさん 中村橋支店

1964年の東京五輪特集は素晴らしい。 M.Sさん 練馬春日町支店

「宮中大嘗祭供納甘藍御収穫祭」の行事を知り、素晴らしいと思いました。 T.Sさん 西大泉支店

私は上京してずっと練馬に住んでいます。他へ行こうとは一度も思いません。畑があること、空気が澄んでいること、都市農業サミットの開催。ここに住んで良かった。 Y.Tさん 豊玉支店

私が行っている支店の職員さんは皆さん親切丁寧なので助かっています。 T.Mさん 赤塚支店

若い方々が中心になってやっているので頼もしいです。時代に合った催し物を工夫しているのが素晴らしいと思います。世代交代ですね。 O.Mさん 田柄支店

地産地消は大変ありがたいです。 H.Mさん 石神井支店

「大根バターソテー」早速作ってみました。美味しい!なかなか大根一本を使い切るのは難しいけれどペロッといただきました。 K.Kさん 練馬春日町支店

練馬に暮らし始めて3年。他区より緑が多く、安心して暮らせる街であることを嬉しく思います。 H.Rさん 中村橋支店

毎月18日の貯金感謝デー。6月にいただいたペチュニアが大きくなり、1月20日現在、花が20輪ほど咲き続けています。途中で何回か切り戻しはしましたが、春まで頑張ってもらいましょう。 ねりっ子けいさん 関町支店

地産地消を目標としての日々の食生活。おかげ様で新鮮な野菜をいただけて感謝しています。 Mariboraさん 石神井支店

植木・盆栽は一昔前は埼玉の安行が有名ですが、桜台支店隣の直売所に出品されている盆栽もなかなかの出来です!!（しかも安価） Yokohiroさん 桜台支店

いつも新鮮な野菜をありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。 K.Nさん 練馬地区アグリセンター

新鮮な野菜や練馬ブランドの品。友人への手土産にしています。 K.Kさん 練馬春日町支店

多彩な都市農業の事々を楽しみにしています。 U.Mさん 田柄支店

特産品の野菜を利用した料理の紹介は大変参考になります。 M.Mさん 大泉支店

今は大根の時季。手軽ですぐに仕上げることができて、バラエティーに富んだレシピで応用ができて良かったです。 E.Cさん 田柄支店

写真と文章のレイアウトが見やすく、読みごたえがありました。次号もまた読ませていただきたいです。楽しみにしています。 A.Mさん 練馬地区アグリセンター

週5日ほど散歩していますが、最近上を向いて歩くことが多くなりました。神社・寺・庭園など、春の花が咲いてとてもきれいで楽しみ。 H.Rさん 石神井支店

「AOBA NEWS NETWORK」を読み、練馬区からも区外のイベントに出店・販売、情報発信していることが素晴らしいと思いました。今後も練馬の農産物・商品を広めてください。 H.Mさん 桜台支店

「年金友の会」への入会紹介で感謝の集いに参加できる特典は続けてほしいです。支店長が店の周りをよく掃除しているのを目にします。若いのになかなかできることではありません。感謝です。 ターちゃんさん 関町支店

（俳句）渦を巻く　マンション前の　交差点 K.Cさん 練馬春日町支店

皆さまのお声を励みに、広報誌「あおば」を編集しております。イラスト・絵手紙・俳句なども大募集！
皆さまからのお便りを心よりお待ちしております！

編集後記

昨年11月に発生した新型コロナウイルスにより、さまざまな影響が出ております。感染拡大が一日でも早く収束することを心より願っております。

昨年4月より、JA東京あおばの広報担当として着任し、組合員・地域の皆さまに「わかりやすく伝える」ことを意識し、広報活動を続けてまいりました。昨年10月からSNSを利用開始。最新の話題をいち早く公開し、よりアクティブな広報活動にシフトしてまいりました。本誌も、QRコードを差し込み、記事に写真を多用しました。今後も「伝える」ことを大切にし、JA東京あおばのファンが増えるような広報を続けられるよう努力してまいります。これからもよろしくお願いいたします。　（広報委員　関口）